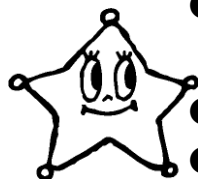


ITOZU YORU ZOO

夜だけの特別イベントを開催します！



- 開催日 8月の毎週金曜日・土曜日・日曜日
8月13日(火)～15日(木)
- 営業時間 9:00～21:00 (通常17:00閉園)
- 入園料 通常の入園料金 ※夜間料金はありません。

★森のおはなし探検隊★

8月のテーマは『平和と自然』

戦争中に到津の森で起こった物語の紙芝居を読んだ後、動物園の森を使ったネーチャーゲームをします。

開催日時：8月10日(土) 13:00～14:00

集合場所：子どもホール2階

参加費：無料(別途要入園料) 事前申込不要

8月生まれ の どうぶつたち

マンドリル「ココ」	1997. 8. 13 (16才)
マンドリル「マンタロウ」	2004. 8. 2 (9才)
ヤギ「キクジロウ」	2005. 8. 27 (8才)
ロバ「ミミ」	2007. 8. 11 (6才)
ホオジロカンムリツル「カン」	2007. 8. 6 (6才)
ホオジロカンムリツル「ムー」	2007. 8. 6 (6才)

ニホンザル

「アラレ」1993. 8. 22 (20才)	「ミミ」1995. 8. 11 (18才)
「ユウタ」2004. 8. 24 (9才)	「ミュー」2005. 8. 3 (8才)
「アオイ」2005. 8. 12 (8才)	「ジョーカー」2009. 8. 4 (4才)
「リオ」2010. 8. 2 (3才)	「アカネ」2011. 8. 24 (2才)

詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問い合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森の便利 8月号 2013年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」13年8月1日発行 通巻126号

世界の カブトムシ・ クワガタ展

世界のカブトムシ、クワガタが到津の森に大集合！
日本や外国のムシたち約40種類を一堂に展示中！
展示期間にあわせ、イベントも行います。

夏ならではのムシたちに会いに、
あなたもぜひご来園ください！

9月2日(月)まで

開催場所：里のいきもの館 および 管理センター2階ロビー

料金：無料 ※入園料が必要です

●カブトムシ・クワガタのプレゼント！

【上記期間中、会場にアンケート設置】

※実際のプレゼントは、企画展終了後になります

会場でアンケートに答えてくれた方の中から抽選で、ヘラクレスオオカブトをプレゼントします。また、当園の会員様には、カブトムシに加え、展示しているクワガタも当たるダブルチャンスが！ぜひアンケートにお答えください！！

●世界最大級のムシたちと記念撮影！

【上記期間中の毎日 10:00～16:00】

管理センター2階ロビーにて※1回100円(別途入園料が必要)

来園の記念に、世界最大級のカブトムシ「ヘラクレスオオカブト」と、同じく「ギラファノコギリクワガタ」と記念写真を撮ることができます。(カメラはご持参ください)



花暦 葉月

体中の関節のネジがゆるんでしまいそうな暑さ。連日 28℃のクーラーでやっと生きてる感じがあります。でも園でのボランティア活動の日には、扇風機の弱い風(紙等飛ぶので強い風は使えない)で、充分快適に過ごす自分に気付いてビックリ。

おばさんは市民ボランティア『森の仲間たち』の一員として、園内植物の魅力を紹介する活動をしています。子供の頃から野山の植物はもちろん、町中の小さな雑草の花を見つけるのも大好きでしたから、自然の流れでした。65才になった今も園に来て、木々の緑に囲まれると気分はすっきりしあわせ。自然、特に植物の息吹きを感じるだけで心とむ自分が嬉しく、植物に関わる場を与えてくれる園に感謝の思いは変わりません。

団塊の世代は受験に、仕事・子育てに、懸命に生きてきて、第一線を引く頃には老後の生きがいを持たねばと言われたものでした。「くれない症候群」や「ぬれ落ち葉」等という情けない言葉も流行りました。

話代わって、現代の仙人とか神様と呼ばれた画家、熊谷守一をご存知でしょうか？幼い頃から一筋縄でゆかぬ人生をたどりながら、子供や自然を愛した熊谷。若い時代に既に歯を全部失くした上に、後半生は足と心臓を病んで自宅から一歩も出なかったと言われていました。

一説では、ただ一度表門から出て塀を伝い裏門から帰ったとか。そんな体で97才で没するまでの20数年間、彼は自宅の花や虫・鳥の絵を描き続け、生き抜きました。

さて、このおばさんは何を言いたいのだろうと、思い始めたでしょう。ではそろそろ結論を、、、

人生第一線を退いてからの生き方は色々あるでしょう。その中で熊谷守一のように、自分本来の性分・思いを当たり前のように遂げる生き方もなかなかいいものだなと思いませんか。その為には、まず今から自分の内側から溢れる物を探してみたいですね。そこで提案です。

到津の森市民ボランティア『森の仲間たち』には、おばさんが所属する「里山ガイド」の他に、飼育・植物・動物ガイド・環境教育・広報とあり、様々な活動内容があります。自分に合う活動を見つけて、私達と一緒に楽しい時間を過ごしませんか。

*次回入会説明会 9月18日(水)13:00～ 11日までに申し込みが必要。
申込・問合せは 651-1895 (到津の森公園)

文：花咲くおばさん

森のなかま・動物たちの暑い夏！

記録的な猛暑で始まったこの夏！

動物たちはというと・・・あわてず、あせらず、そして、ひたすらじっと、暑さに耐え季節が巡るのをじっと待っています。

そうは言っても動物たちに涼を、そして見る人にも涼をと、毎年恒例の行事なのが「氷のプレゼント」。暦の上での「大暑の日」とされる7月23日と土日を含めた4回にわたって、行われます。

大暑の日に氷をプレゼントした時の動物たちの様子をちょっとご紹介します。まずはニホンザル。果物が入った大きな氷柱をサル山の滝にセット！集まってくるかと思いきや・・・反応はいまいち。賢い彼らは、中の果物がそう簡単に取れない事を知っています。数千円もする特注のそれよりも、スタッフの手作りの氷ボールや凍らせたリングの方が楽しいらしく手にとってがりがり噛んでいます。

続いてチンパンジー。氷柱に空けた穴に棒を差し込み中に仕込んだヤマモモなどを懸命に取りだします。さすが！そして、ニホンザルですっかり諦められていた果物入りの巨大氷柱はなんと池に落として溶かして取る方法をとっています！毎年の記憶がちゃんとあるんですね！しかも、子どものミルクが池まで運べずにいるとお父さんのマリオがさっときてあつというまに押してドボン！知恵と家族愛に、見る方の暑さも吹き飛びます。ちなみにチンパンジーの前にはお客さん用にも氷柱が用意されていて、より涼しくなります♪

最後はアライグマ。ドリルで開けた穴にこれまた器用に指を入れ、すんなりと取り出していました。

動物によっても反応はさまざまで、見た目も涼しくとても楽しいひと時となりました。猛暑ならではのイベントも楽しんでいただければと思います。



飼育展示係 外平友佳理